



三木高大 自治会新聞

平成 29 年 1 月号 (No. 129)

発行 三木市高齢者大学学生自治会

発行責任者 自治会会長 金丸 正

編集者 自治会新聞編集委員会

発行日 平成 29 年 1 月 19 日

<http://koureisuyadaigaku.cccp.jp>



新年明けましておめでとうございます



今年、丁酉年、皆で羽ばたきましょう！

昨年、私は自治会長の就任にあたり「伝統を守りつつ、皆さんの声に耳を傾けて、改革すべきは改革していく」と決意を表明しました。同時に「和顔愛語で相互理解」をスローガンに掲げて、皆さんのご理解とご援助をいただきながら、明るく楽しい学生生活の環境作りを目指して、自治会活動に邁進してきました。これは、前任の立石会長と先に卒業された三木元会長のお二人が、「年頭の挨拶」或いは「意見発表会」で、それぞれの思いを込めて、五大大行事のあり方の見直しを主張されたことに起因します。



自治会活動の負担を軽減することを主目的として、現執行役員等が中心になり、一昨年 11 月に五大大行事簡素化（準備）委員会を立ち上げ、行事全体の見直しに着手しました。

具体的には、平成 29 年度から 1 泊研修旅行の廃止を決定して、学生自治会の五大大行事も全校行事と改称しました。さらに、体育祭での応援時間の短縮や種目変更を行う等、昨年は改革の年でした。

今年も、皆さんに充実した学生生活を送って頂けることを祈念しながら、改革に取り組みたいと思っています。ご支援とご協力よろしくお願ひします。

自治会会長 金丸 正

大学・大学院運営委員会の報告

平成 29 年度の大学・大学院の運営について、昨年 12 月 16 日に運営委員会を開催し、次のことを審議、決定していただいた。

【平成 29 年度の講座】教養講座 20 回、専門課程 5 学科（各 16 回の講座）

【新入生の募集】定員 75 名、受付期間は、1 月 17 日から 2 月 28 日

◇ 委員の主な意見など

平成 29 年度の専門課程の講座内容において、健康福祉学科が「認知症・介護予防等の健康づくりを学ぶコース」として、実践につながる充実した内容となること、また老人クラブなどとの連携により、入学者増を目指してほしいとの意見があった。

また、募集要項の入学要件の変更について、高齢者大学の学生のさらなる老人クラブ活動やボランティア活動への参加を期待する旨の意見があった。

大学運営委員会は、学長や教育長をはじめ、社会福祉協議会、老人クラブ連合会、区長協議会連合会、小学校・特別支援学校校長会、大学及び大学院自治会などの代表や市民ふれあい部長などの行政関係者が学校の運営について審議するため、毎年 3 回開催される。

教務主任 藤原 良一

12月の教養講座から

みんなの命輝くため ～人権はだれのもの?～

講師：三木市人権・同和教育協議会

人権教育・啓発専門員 稲見 臣二 様

人権教育・啓発専門員 東田 寿啓 様

「人権」とは、みんなのものです。他人の人権を尊重し、差別をなくして、みんなが平等・公平に扱われることです。公平とは弱い立場の人が普通の人と同じように、行動できる為に受ける事ができる権利です。絵文字・聴導犬等がそれに当てはまります。



たとえば、エレベーターの押しボタンは上下2か所についています。これは健常者が上で、弱い立場の人は下と、押しやすい様になっているだけの為ではありません。ドアの開閉時間は上が8.7秒で下は17.5秒と違います。弱い立場の人が乗車し易い様に、時間に余裕を取っています。また、後面に鏡が付いているのは、車いすの人がバックして降りる時に、後に障害物等がないか、安全確認の為ということを知りました。

「差別」について、差別問題は差別される人の問題ではなく、差別する人の問題であるということです。差別を許さない、また他人の痛みを解ろうとすることができる生き方をしましょう。人は誰もがかけがえのない命、人格、個性を持っていますのでお互いの人格を尊重する事が、差別のない社会を作ることが出来るという講義でした。

この様に、何事も相手の立場にたって物事を考え行動することが、差別をなくす最善の方法だと思います。

2年1班 川戸 通生

専門講座だより (古典学科)

わが国において、古典の講義といえば、今なお人気を他に譲らない“源氏物語”、世界でも20数ヶ国語に翻訳され読まれています。1000年以上もの間、人の心を引きつけてきたものとは何か。私も今、その講義を聴く機会を得て取り組んでいるところです。



原稿用紙にすると2400枚にもなる長編小説、恋愛を土台として、その中に政治、経済、風習、文化など内容は多彩で、和歌も800首ほど盛り込まれています。表現は人の五感をくすぐるものばかりで、文章は当時の女性の髪型になぞらえ“すべらかし調”といわれ長いものになっています。登場人物は400人以上、実在人物をモデルにして、あたかも実話のように感じさせるところも、おもしろさの一つと思われます。

主人公の一人である光源氏は幾人もの女性と逢瀬を重ねますが、果たして心から幸福であったのでしょうか？やがて身の破滅をもたらす事件が…「別れにし、悲しきことは尽きにしをまたぞこの世のうさはまされる」政争に敗れ、みずから須磨への退去を決意するのです。

黒田先生による古典の講義は、“源氏物語”を軸とし日本神話の“古事記”や江戸時代に書かれた滑稽本“東海道中膝栗毛”が入ります。多様な古典文学に触れることで、その時代にタイムスリップしたような感覚を覚え、大変興味深く聴くことができます。

この素敵な専門講座(古典学科)をあなたも聴講しませんか。

1年3班 定永 好子

大学祭のご案内

大学祭が2月25日・26日に当大学で開催されます。

大学祭は、学生自治会活動の報告や各クラブの作品展示・演技を披露することで日頃の研鑽成果を発表する場であり、この機会を通じて、学生相互の親睦を深める祭典であります。又、学生が減少していくのを皆様の大学に対する思いやクラブ活動での素晴らしさを来客に伝え、今後入学したいと思われるように、各クラブは開催に向けて、今一度素晴らしい力作の展示・感情のこもった演技の仕上げに努められて、充実した楽しい大学祭にして行きましょう。

会場の設営から後片付けまで、全て全学生の共同作業です。今年は26日15時に終わりましたら、直ちに後片付けを行いますので、皆様のご協力宜しくお願いします。

行事の概要は次のとおりです。

日	時	内 容
2月25日(土)	09:00~12:00	会場設営等準備作業
	13:00~15:00	作品展(一般公開)
2月26日(日)	09:30~	学生集合着席
	09:40~10:00	式典
	10:05~15:00	演技披露・作品展(一般公開)
	15:00~17:00	後片付け
2月27日(月)	09:00~11:00	一部残り、後片付け

次号では、見学される方のために、演技プログラムの掲載を予定しております。

大学祭実行委員長 3年5班 馬場 由和



園芸クラブ

おいしい野菜を作り、元気もりもり

男性の多いクラブですが、皆さんは女性にやさしく、大変な耕運作業は機械を使い行っています。

活動日である水曜日ごとに雨がふることもあり、まさにお天気との闘いの時期もあります。共同畝では苗植えや、草抜きなどをして大きく育てた野菜をおみやげとして持ち帰ることが出来ます。夏の暑い日差しの中で蒔いた大根、人参、白菜等が芽を出し段々と大きくなるとうれしく、おみやげとして持ち帰る時のクラブ員の顔には笑顔がたえません。個人畝では、好きな苗や種を蒔いたり育てたりすることが出来、育て方が判らない時はアドバイザーや先輩に聞く事でなごやかな会話が生まれます。



現在、本科生が少なくクラブ運営にも支障をきたしています。太陽を浴びながら土とふれあうことは、高齢者にとってこの上ない自然との会話となります。

収穫の時は、喜びを味わえ、楽しいクラブの研修旅行や春と秋の収穫祭などのクラブ諸行事は先輩後輩の垣根をこえた、なごやかな楽しい意見交換の場となっています。

農薬が少ない甘くておいしい野菜を食べて、元気に過ごしませんか。多くの方と共に楽しい高大生活を体験しましょう。

園芸クラブ 4年2班 板井 美代

ゴルフクラブ

三木市にはゴルフ場が 25 あります。これは西日本 1 番で、全国では、千葉県市原市に次いで 2 番目です。ゴルフをすると利用税なるものを支払います。三木市には年間 5 億 8 千万円程の税収があり、市民のために使われております。市ではゴルフ振興のためいろいろな取り組みを行っています。

一つめは市内のゴルフ場で利用できる格安なゴルフ利用券です。二つめは三木市ゴルフ協会により市民ゴルフ大会と未来のゴルファーを養成するためジュニアゴルフ塾、三木市レディースゴルフトーナメントなどの開催です。三つめは昨年、市内のゴルフ場を回るスタンプラリーが行われました。4 月から 9 月までの半年間にラウンドしたゴルフ場の数で商品が当たりました。今年も企画されるかも知れません。

我がゴルフクラブは、毎年 4, 5, 6, 9, 10, 11 月の 6 回、コンペを市内のゴルフ場で行っています。今、最高齢の方は 80 才で頑張っておられます。

ゴルフは生涯スポーツです。一日ラウンドすれば足腰が鍛えられ、血圧も下がると言われています。先日は東条湖のホテルで忘年会を行いました。カラオケあり、ゴルフ場から頂いた景品のくじ引きで大変盛り上がりました。また、昨年のラウンド数に応じた金額を三木市社会福祉協議会に寄付してきました（上掲の写真）。

今年も 4 月からスタートします。入部をお持ちしております。

競技の模様や成績はゴルフ部のホームページをご覧ください。

URL は <http://koureisyadaigaku.cccp.jp/miki10/25golf/newpage1.html>

ゴルフクラブ部長 4 年 3 班 小池 正憲



茶道クラブ

茶道の精神 『わ けい せい じゃく』

茶道クラブは石井宗貴先生の教えの下に OB を含めて 21 名の部員で活動しています。

石井先生は茶道の根本の心は「和敬清寂」の四つに尽きると言われます。

和は平和の和・人の和であり、敬は長上に対する尊敬・同僚や目下の人に対する敬愛であり、清は清く正しく、かつ静に通じて静寂であり、さらに心の平静さ・落ちつきであります。寂は茶道の美の最高理念である「わび・さび」を指すと同時に、己を知って足るを知る心であり、心の安らぎであります。

「和敬清寂」の掛軸を掛けて心を落ち着かせて、稽古をしています。利休居士が確立した作法は現在も同じで、右手で扱う事を左手で扱う事は出来ない。良く理に適った動作なので、左利きの方は、稽古に大変苦労しておられます。

又、時代と共に日本建築の畳の『和』から、明治になって西洋建築の椅子の『洋』も取り入れられ、時代に対応した作法もあります。私達も年と共に足・ヒザが悪くなり、正座が困難になりますので、写真の様に応接机と椅子を取り入れた稽古もしております。

今は大学祭のお茶席を、1 年の総仕上げとして稽古に励んでいます。

どうぞ、皆様もお気軽にお茶を楽しみませんか。

茶道クラブ部長 3 年 5 班 馬場 由和

